

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和7年2月10日（月）13：30～

場所 白石市防災センター2階 大会議室

- 1 白石市歴史文化アドバイザー委嘱状交付式
- 2 2月定例会提出議案について

【記者会見の動画配信について】

記者会見の様様を記者会見終了後に動画配信させていただきます。
記者の皆さまもご理解願います。

白 石 市



「白石市歴史文化アドバイザー」の委嘱状交付について

担当：教育委員会教育部生涯学習課

1 白石市歴史文化アドバイザーについて

白石市歴史文化アドバイザーは、本市の歴史文化の情報発信や、保存研究へ助言していただくもので、平成29年2月に制度を設立しました。

現在は東北大学教授の荒武賢一朗さんと日本舞踊家の麻生菜穂美さんに委嘱しており、これまでにお二人から歴史、文化の情報発信と調査研究についてご助言をいただいています。

今回、白石城復元30周年を迎える年に、3人目のアドバイザーとして菊地正昭氏に就任いただきます。

2 委嘱者と委嘱理由

氏名 菊地 正昭 氏（前白石市副市長）

理由 菊地氏は、白石市職員当時から白石市の歴史に精通しており、また白石城復元の事業担当者であったことから、今回アドバイザーに就任いただき、今後は、白石城を含めた歴史の活用や、白石城復元30周年関係イベントなどご助言をいただきたいと考えています。

白石市歴史文化アドバイザー

委嘱状交付式

日時 令和7年2月10日(月)

13:30～

場所 白石市防災センター

次 第

- 1、開 会
- 2、アドバイザーへ委嘱
- 3、市 長 挨 拶
- 4、アドバイザー挨拶
- 5、閉 会

令和6年度2月補正予算概要

担当：総務部財政課

令和6年度2月一般会計補正予算額は7億31万円の増額で、累計では190億3,278万円となります。

今回の補正予算は、道の駅整備事業や防災重点農業用ため池詳細調査事業、みどりの少年団活動支援事業などの経費を計上しております。

事業別の詳細は、別紙1のとおりです。

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
一般会計	18,332,470	700,310	19,032,780
特別会計	国民健康保険	△ 30,282	3,769,551
	介護保険	△ 158,705	4,159,997
	後期高齢者医療	△ 7,237	537,672
	計	△ 196,224	8,467,220
合計	26,995,914	504,086	27,500,000

企業会計

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
水道事業会計	1,343,862	△ 4,998	1,338,864
下水道事業会計	1,831,832	△ 6,825	1,825,007

※水道事業会計及び下水道事業会計は収益的支出及び資本的支出の合計額

2月補正の主な事業及び金額

一般会計

(単位:千円)

事業名	金額
みどりの少年団活動支援事業	1,038

令和7年2月議会 記者会見資料
令和6年度2月補正予算関係

みどりの少年団活動支援事業

担当：市民経済部農林課

令和7年10月4日（土）、宮城県では初となる「第48回全国育樹祭」お手入れ行事が、国立花山青少年自然の家南蔵王野営場で開催されることが決定しましたが、市内各小学校のみどりの少年団員の帽子が経年劣化し、数も不足していることから、機運醸成を図るため、帽子を購入しようとするものです。

なお、本事業の趣旨にご賛同いただいた企業から、企業版ふるさと納税寄附金をいただきましたので、これを財源として活用させていただくこととしております。

【参考】全国育樹祭お手入れ行事

継続して森を守り育てることの大切さを国民に伝えるため、昭和52年から全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催で毎年秋に行われている国民的な緑の祭典です。

全国育樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木について、皇族殿下によるお手入れ（枝打ち・施肥など）が行われるシンボリックな行事のほか、皇族殿下によるおことばや各種表彰などの式典行事などが行われます。

[歳入] 寄付金

企業版ふるさと納税寄附金 1,000千円

[歳出] 6款 農林水産業費 2項 林業費 1目 林業総務費

2事業 一般管理的経費

10節 需用費 1,038千円

令和7年度 当初予算概要

担当：総務部財政課

令和7年度一般会計当初予算は、192億1,730万7千円。前年度当初予算に比べ、22億9,153万6千円（13.5%）の増となっております。

令和7年度は、スマートインターチェンジ及び道の駅などの周辺施設整備事業費を計上するほか、旧白石市いきいきプラザ解体事業、無電柱化推進計画事業、子ども医療費助成事業や小学校入学祝い金といった子育て支援事業、白石城開門30周年記念事業などに要する経費を計上しております。

主な事業の詳細は別紙2から14のとおりです。

令和7年度当初予算の主要事業

一般会計等

(単位：千円)

事業名	金額
○スマートインターチェンジ整備事業【別紙2】	454,752
○道の駅整備事業【別紙3】	2,096,755
○旧白石市いきいきプラザ解体事業【別紙4】	243,870
○地域づくりコーディネーター設置業務委託事業【別紙5】	4,850
○白石城開門30周年記念事業【別紙6】	9,515
○子ども医療費助成事業【別紙7】	112,581
○白石市小学校入学祝い金【別紙8】	4,030
○胃の内視鏡検査事業【別紙9】	3,367
○白石市農業振興事業補助金【別紙10】	5,000
○物価高騰対策割増商品券事業【別紙11】	82,500
○白石市道東小路線外無電柱化推進計画事業【別紙12】	17,278
○空家等実態調査事業【別紙13】	14,185
○学校給食費の値上げ補填事業【別紙14】	19,035

令和7年2月議会 記者会見資料
 令和7年度当初予算関係

スマートインターチェンジ整備事業

担当：建設部都市創造課

本市が取り組んでおります(仮称)白石中央スマートインターチェンジについては、東日本高速道路株式会社との協定に基づき整備を進めており、令和7年度から本格的に工事に着手する予定です。

当初予算では、スマートインターチェンジ及び仙台南部工業団地内の道路整備に必要な工事費等を計上しております。

スマートインターチェンジが整備されることにより、東北縦貫自動車道のさらなる有効活用が図られ、新たな企業誘致の実現や企業活動の支援が期待できるとともに、あわせて周辺整備を行い、賑わいと活力あふれる新たな拠点の創設とともに、更なる観光産業の活性化につなげていくため、関係機関と連携し早期完成を目指してまいります。

○事業概要

- 1 実施場所 白石市大平中目地内～斎川地内
- 2 事業概要 スマートインターチェンジ整備の工事
仙台南部工業団地内道路整備の工事

[歳入] 国庫補助金	地域連携道路事業費補助金	1 2 6, 5 0 0 千円
	社会資本整備総合交付金	1 0 1, 0 0 0 千円
地方債	スマートインターチェンジ整備事業に充当	1 8 4, 0 0 0 千円
繰入金	都市整備基金繰入金	2 1, 0 0 0 千円
諸収入	受託事業収入	1 3, 2 9 0 千円

[歳出]	8 款 土木費	2 項 道路橋梁費	6 目	スマートインターチェンジ整備事業	
	2 事業	スマートインターチェンジ整備事業			
				<u>事業費</u>	4 5 4, 7 5 2 千円

(主な項目)

1 2 節	委託料	1 2 7, 3 5 9 千円
1 4 節	工事請負費	2 9 5, 5 2 9 千円
1 6 節	公有財産購入費	8, 5 5 1 千円

令和7年2月議会 記者会見資料
 令和7年度当初予算関係

道の駅整備事業

担当：建設部都市創造課

令和2年10月に新規事業化された(仮称)白石中央スマートインターチェンジの整備効果を最大限発揮するため、令和4年8月に策定した「(仮称)道の駅しろいし基本計画」に基づき、「道の駅」と「防災公園(スポーツ・レクリエーション施設)」を一体的に整備し、地域活性化と防災拠点の整備を行うものです。

当初予算では、道の駅整備事業に関する設計及び建設業務に必要な委託料等を計上しております。

「道の駅」と「防災公園(スポーツ・レクリエーション施設)」が整備されることにより、同施設を拠点とした観光や歴史・文化の情報発信、特産品の販路拡大、地産地消をコンセプトとした飲食を提供するなど人々が交流する地域活性化の拠点としてだけではなく、中心市街地とのアクセス向上による連携などにも寄与する中核的な場の形成を図り、「地方創生・観光を加速する拠点」を目指してまいります。

○事業概要

- 1 実施場所 白石市大平中目地内
- 2 事業概要 (仮称)道の駅しろいし及び防災公園(スポーツ・レクリエーション施設)の設計及び建設
- 3 スケジュール(予定)

施設整備(設計・建設)	令和6年9月～令和9年3月
開業	令和9年7月
維持管理・運営	開業日～令和24年6月(15年間)

[歳入]	国庫支出金	社会資本整備総合交付金(道路)	73,133千円
		社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	339,600千円
		防災・安全社会資本整備交付金(防災公園)	263,601千円
	地方債	道の駅整備事業に充当	767,300千円
	繰入金	都市整備基金繰入金	374,000千円
	諸収入	道の駅整備事業負担金	271,000千円

[歳出]	8款	土木費	2項	道路橋梁費	7目	道の駅整備事業
						2事業 道の駅整備事業
						事業費 2,096,755千円

(主な項目)

12節	委託料	1,720,179千円
14節	工事請負費	86,944千円
16節	公有財産購入費	280,032千円

令和7年2月議会 記者会見資料
 令和7年度当初予算関係

旧白石市いきいきプラザ解体事業

担当：総務部財政課

令和6年9月に策定した「白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針」において、既存の公立幼稚園1園及び保育園5園の計6園に代わる公立の「認定こども園」と、「地域子育て支援センター」「障害児通所施設」「ファミリー・サポート・センター」などの子育て支援施設を併設した多機能型の子育て支援拠点施設（以下「認定こども園等」）を、旧白石市いきいきプラザ（以下「旧いきいきプラザ」）跡地に整備する方針としています。

本基本方針では、認定こども園等を令和10年度中に整備することを目指していることから、国の交付金メニューの1つである「空き家再生等推進事業」を活用し、旧いきいきプラザの解体工事を実施します。

旧白石市いきいきプラザ概要

- 1 建築年：1964(昭和39)年 ※2018(平成30)年3月閉館
- 2 所在地：白石市沢端町4-1
- 3 構造：鉄筋コンクリート造
- 4 敷地面積：3,421.64 m²
- 5 建築面積：1,483.13 m²
- 6 延べ面積：2,813.35 m²

[歳入] 国庫支出金

社会資本整備総合交付金	94,357千円
地方債	
公共施設等適正管理推進事業債	118,200千円

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費

2事業 一般管理的経費

12節 委託料（うち老朽化施設解体工事関連分） 41,360千円

14節 工事請負費

 老朽化施設解体撤去工事 202,510千円

合計 243,870千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

地域づくりコーディネーター設置業務委託事業

担当：市民経済部まちづくり推進課

第六次白石市総合計画のまちづくり宣言に基づき各地区で策定した地区計画を実現するためには既存の取り組みのみならず新たな取り組みが求められます。

このことから、総務省の集落支援員制度を活用して、地域の新たな取り組みへの挑戦を応援するため、3年間のモデル事業として1地区のまちづくり協議会を選定し、委託事業として地域づくりコーディネーターを設置します。

地域づくりコーディネーターは、地域点検や地域のあり方に関する話し合いなどを実施するとともに、地区計画の中で取り組みが進んでいないものについて、中心となって、地域住民との話し合いを通して事業構想を練り、地域住民と共に実情に応じた地域の維持・活性化対策を推進していきます。

○事業概要

- 1 選定地区・団体
齋川地区 齋川まちづくり協議会
- 2 モデル事業期間
令和7年度～令和9年度
- 3 設置人数
1人

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費
29事業 集落支援員事業
12節 委託料 4,850千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

白石城開門30周年記念事業

担当：市民経済部まちづくり推進課

白石城は明治維新後に解体されましたが、その後復元の機運が高まり平成7年に日本古来の建築様式に基づき忠実に復元いたしました。今年は復元から30周年を迎えることから、30周年の節目を契機として、本市のシンボルである白石城の魅力を市民の皆さまに再認識していただく機会とし、まちへの誇りと愛着を持つシビックプライドの醸成へとつなげるとともに、全国レベルでの更なる認知度向上を目指し事業を実施いたします。

なお、実施にあたっては公益財団法人白石市文化体育振興財団と連携し、開門30周年事業のメイン事業として企画してまいります。

○事業概要

1 会場

白石城本丸広場

2 開催日

令和7年10月12日（日）

3 事業内容

- ・白石城天守閣壁面へプロジェクションマッピングの実施
- ・地元の食材を活用した料理やお酒等を味わい楽しめるフードマルシェの開催
- ・仙南地域に所縁のあるミュージシャンやパフォーマー等によるステージイベントの開催

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費 18目 白石城関連費
2事業 一般管理的経費
12節 委託料 9,515千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

子ども医療費助成事業

担当：保健福祉部健康推進課

これまで、15歳年度末までとしていた子ども医療費助成の対象年齢を令和7年4月診療分から18歳年度末までに拡充し、子どもの適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図ります。

○事業概要

1 助成拡大に係る経過及び予定

(1) 令和6年2月市議会定例会

- ・令和6年度当初予算に助成拡大に伴う予算計上

(2) 令和6年6月市議会定例会

- ・対象年齢の引き上げに伴う「白石市子ども医療費の助成に関する条例」の改正

(3) 令和6年7月から

- ・助成拡大の年齢に該当する子どもの保護者に対し、受給資格登録申請書の提出を求める

(4) 令和7年3月

- ・令和7年4月診療分から助成対象年齢が引き上げられることに伴い、受給者証の有効期間が変更となることから、すべての助成対象者の保護者あてに新たな受給者証を送付予定

2 助成拡大に伴う助成者数等の増について

- ・想定増加人数：804人（令和6年7月1日時点の高校生世代数）
- ・想定増加扶助費：約20,540,000円（入院：1,554,132円__外来：18,985,656円）

3 令和7年度当初予算積算について

- ・対象人数：3,578人
- ・助成件数：57,170件
- ・助成額：112,580,586円

[歳入] 県支出金
乳幼児医療費補助金 10,873千円

[歳出] 3款 民生費 2項 児童福祉費 2目 児童措置費
3事業 子ども、心身障害者医療費助成事業
19節 扶助費
子ども医療費助成費 112,581千円

令和 7 年 2 月議会 記者会見資料
令和 7 年度当初予算関係

白石市小学校入学祝い金

担当：保健福祉部子育て支援課

少子化対策の推進及び子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、平成 29 年度から小学校へ入学する年度に第 3 子以降の子等を監護する保護者に対して、一人当たり 3 万円分の小学校入学祝い金を贈呈しております。

更なる子育て支援の充実を図るため、令和 7 年度から、第 1 子及び第 2 子につきましても一人当たり 2 万円分の小学校入学祝い金を贈呈いたします。

○事業概要

1 贈呈対象者

- (1) 子が小学校に入学する年の 5 月 1 日に白石市に住民登録をしている保護者
- (2) 児童福祉法第 6 条の 4 に規定する里親のうち、被措置児童が小学校に入学する年の 5 月 1 日に白石市に住民登録をしている者

2 祝い金の額

- | | |
|------------------|------|
| (1) 第 1 子及び第 2 子 | 2 万円 |
| (2) 第 3 子以降 | 3 万円 |
| (3) 被措置児童 | 3 万円 |

3 贈呈内容

Quo カード Pay を利用し、デジタルギフトとしてそれぞれ応じた金額を贈呈

[歳入] 県支出金

宮城県小学校入学準備支援事業補助金 570 千円

[歳出] 3 款 民生費 2 項 児童福祉費 7 目 子育て支援費

3 事業 子育て支援事業

7 節 報償費 4,030 千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

胃の内視鏡検査事業

担当：保健福祉部健康推進課

本市の各種がん検診は、国が示している「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に沿って実施しております。

そのうち胃がん検診は、これまで40歳以上の希望者に対し、X線（バリウム）による検査を実施してきましたが、指針では、がん検診の受診について50歳から69歳までの方を特に推奨する者としていることから、この年代の方々が検診を受けやすい環境を整えることを目的として、令和7年度よりX線検査に加え、内視鏡（胃カメラ）検査を導入し、希望する検査が選択できるよう事業を拡大します。

対象者と自己負担額などは以下のとおりで、市の各種健康診査申込みで胃がん検診を希望した方のうち、対象年齢の方には検査項目が選択できるよう個別通知で周知を行います。

○事業概要

1 対象者

50歳から68歳のうち令和8年4月1日までに偶数年に到達する方

2 自己負担額

6,500円

3 検査時期

令和7年10月頃

4 検査場所

宮城県対がん協会「がん検診センター」（仙台市青葉区上杉5丁目7番30号）

5 検査項目選択通知の時期

令和7年5月中旬頃

[歳出] 4款 衛生費 1項 保健衛生費 3目 予防費

4事業 各種検診事業

12節 委託料

3,367千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

白石市農業振興事業補助金

担当：市民経済部農林課

農業従事者や耕作面積の減少、高齢化の進行が全国的な課題となっています。
このことから、農業経営体の経営継続や次の世代への経営継承を支援することで、担い手の減少を抑制するため、白石市農業振興事業補助金を創設します。

○事業概要

1 対象者

市内に住所を有する個人または法人で、今後5年以上農業経営を行う者

2 対象経費

農業用機械の購入または農業用施設の整備が1,000千円以上のもの

3 補助率

3分の1以内（消費税及び地方消費税を除く）

※上限額1,000千円（千円未満切り捨て）

[歳出]	6款	農林水産業費	1項	農業費	4目	農業振興費	
		2事業		農業振興事業			
		18節		負担金補助及び交付金			5,000千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

物価高騰対策割増商品券事業

担当：市民経済部商工観光課

今般のエネルギー・食料品価格等の物価高騰による本市経済への影響は、消費の低迷や生活水準の維持が困難になるなど、市内事業者の経営と市民生活に多大な影響を与えております。

このような状況を改善するため、消費の下支えと消費喚起に効果が期待できる3割増商品券を販売し、事業者の経営と市民生活を支援いたします。

○事業概要

1 商品券名称

(仮称) 物価高騰対策割増商品券

2 販売額等

総額 2億9,900万円

割増率 30%

販売数 23,000セット

セット内容 販売額10,000円 割増し3,000円 利用額13,000円
500円券26枚(共通券12枚、小規模事業者専用14枚)

3 対象者

購入者：市民または市内に通勤・通学する者

参加店：市内に事業所を有し営業を行っている事業者

4 販売方法

事前申し込み制による販売

[歳入] 国庫支出金

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

78,432千円

[歳出] 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費

5事業 物価高騰対策割増商品券事業

12節 委託料

82,500千円

[別紙12]

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

ひがしこうじ 白石市道東小路線外無電柱化推進計画事業

担当：建設部都市創造課

本事業は、令和4年8月に策定した「白石市無電柱化推進計画」に基づき、良好な景観形成、防災機能の強化・向上を目指し、白石駅から市役所までの県道白石停車場線、市道東小路線、市道桜小路線の3路線について、一体的に無電柱化を推進するものです。

市道部については、宮城県へ業務を委託し、事業を進める予定です。
令和7年度は、詳細設計を予定しております。

○事業概要

- 1 整備方法：電線共同溝方式による無電柱化
※電線共同溝とは、地上の電柱や上空の電線を地下に收容するための施設
- 2 事業区間：沢目～大手町（白石駅～すまいる広場～城下広場～市役所）
- 3 路線名：県道白石停車場線（白石駅～すまいる広場）
市道東小路線（すまいる広場～城下広場）
市道桜小路線（城下広場～市役所）※県道部と一体的に整備
- 4 路線延長：0.3km（県道部含む総延長0.6km）
- 5 事業期間：令和6年度から令和13年度
※令和6年度は、具体的な事業計画を作成するための予備設計を実施
- 6 事業費：全体事業費445,000千円（うち令和7年度15,000千円）

[歳入]	都市整備基金繰入金	2,000千円
	国庫支出金	
	無電柱化推進事業費補助金	8,250千円
	市債	
	無電柱化推進事業に充当	6,700千円

[歳出]	8款 土木費	2項 道路橋梁費	8目 無電柱化推進事業費
	2事業 無電柱化推進事業		
	12節 委託料		15,750千円
	15節 原材料費		28千円
	18節 負担金補助及び交付金		1,500千円
		合計	17,278千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

空家等実態調査事業

担当：建設部建設課

昨今の空家等対策事業については、人口減少や少子高齢化等の社会情勢の変化に伴い、全国的に空き家総数は年々増加傾向にあり、本市としても非常に重要な課題であると認識しております。

空家等実態調査事業については、平成28年8月に市内一円の空家等に関する実態調査を実施しました。調査の結果、市内の空家等が831棟確認され、そのうち道路の通行者や隣地住民等の第三者に危害を加えるおそれのある建物が377棟確認されています。

現在は、「白石市空家等対策計画」に基づき空家等対策を推進しているところですが、市民の空家等に対する関心も高く、相談も年々増えている状況です。

令和7年度当初予算に市内一円の空家等に関する実態調査を実施するため、委託料を計上しています。

空家等の実態を調査した後は、所有者のニーズを把握するため意向調査等を実施し、所有者へ必要な支援ができるよう今後の空家等対策に活かしていきたいと考えています。

○事業概要

1 事業内容(令和7年度 業務内容)

- ①一次調査：机上で空家等候補を選定
- ②二次調査：一次調査で選定した空家等候補を外観目視により現地調査
- ③所有者特定：所有者だけでなく相続人も調査

2 実施場所

市内一円

[歳入] 国庫支出金

社会資本整備総合交付金 7,092千円

[歳出] 8款 土木費 5項 住宅費 1目 住宅管理費

2事業 住宅管理経費

12節 委託料

空家等実態調査業務委託料 14,185千円

令和7年2月議会 記者会見資料
令和7年度当初予算関係

学校給食費の値上げ補填事業

担当：教育委員会学校給食センター

本市では、令和5年度の学校給食費改定による差額分について、国の臨時交付金を活用し市が負担しておりましたが、物価高騰の先行きが見えない状況が続いていることから、保護者の経済的負担軽減を図るため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和7年度も引き続き市が負担することで子育て世帯の経済的支援を実施いたします。

○事業概要

1 対象者

白石市学校給食センターから給食の提供を受ける方で、市内に住所のある児童生徒の保護者

- ・小学生：1, 199人
- ・中学生：698人

2 実施方法

令和7年度において、令和5年度の学校給食費改定による値上げ分は徴収しない。

3 1人あたり年間補填額（平均）

- ・小学生 $(41円 + 10円) \times 190日 = 9,690円$
- ・中学生 $(52円 + 12円) \times 186日 = 11,904円$

[歳入] 国庫支出金

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 19,035千円